

税務署 ニュース

お年寄りや障害者と税金

国の重要な仕事の一つに社会保障があります。お年寄りや心身に障害のある人など、社会的、経済的に弱い立場にある人に対してはその生活を安定させるため、社会の支えが必要です。この支えの役割を果たすのが社会保障です。社会保障を充実する一方、税金の面でもいろいろな特典がもうけられています。

税金面での特典

○ お年寄り本人が受けられる特典

年齢が六十五歳以上で所得金額が一千万円以下のお年寄りはその人の所得税を計算するとき、次の二つの控除が受けられます。

(一) 老年者控除……年間二十三万円が所得金額から控除されます。

(二) 老年者年金特別控除……年間七十八万円が、公的年金や恩給の収入金額から控除されます。

○ お年寄りを扶養している人が受けられる特典

配偶者控除、扶養控除の対象となる親族が七十歳以上で障害者でないお年寄りのときは、別居の場合、一人当たり三十五万円(七十歳未満のときは、一人当たり二十九万円)、同居の場合、四十万円が所得金額から控除されます。

社会保障の主なもの

○ 社会福祉

社会福祉は、老人や心身に障害のある人など独立して生活することが困難な人達に対して援助の手を差しのべるものです。

本年度もお年寄りのための老人医療給付などや、心身に障害のある人のための各種更正援護施設の充実のための事業が行われます。

○ 年金保険

年金給付のための費用は、原則として保険の加入者などが納める



(三) その他……所定の手続きをとることにし、贈与税、物品税などについても特典があります。

○ 心身障害者を扶養している人が受けられる特典

(一) 所得税の障害者控除……配偶者控除、扶養控除の対象となる親族が、心身障害者のときは一人当たり二十三万円(特別障害者のときは一人当たり三十一万円)が所得金額から控除されます。

(二) 特別障害者と同居している場合の配偶者控除及び扶養控除……配偶者控除、扶養控除の対象となる同居の親族が特別障害者の場合は、配偶者控除及び扶養控除はそれぞれ三十四万円となります。

年金 こんな時 こんな年金

(先月号つづき) 障害年金

最近一年間は保険料を納めている人などが病氣・けがにより初診日から一年六ヶ月後などに障害者になったときに支給される。

母子年金・準母子年金・遺児年金

右記のような納付要件を満たしている場合で、母子・準母子または遺児の状態になったとき支給される。

寡婦年金

老齢年金をうける条件を満たした夫が死亡した場合に、妻に六十歳から六十五歳の間支給される。

死亡一時金

保険料を納めた期間が三年以上ある人が、年金をもらわないうちに死亡したときに支給される。

こんにちは 保健婦です

子供たちの食生活

「よく遊び、よく学べ」
親が子どもたちの未来について考える時、最初に思い浮ぶことは「健康」であってほしいという願いでしょう。

食生活の面からこの問題を考えてみると、年齢等の個人差によってもかなり違いますが、親の考え方にも影響されることが比較的多いと思われる。従来からよく言われている食事についての心配ことの大半は、落ちついて食べないことや、少食、偏食等ですが、早くきれいに食べることが親が手伝うケースも相当数あると言われています。食生活上の自立ができない子どもたちの中には、こうした過保護にもとづく「甘い」状況から抜け出せないでいる者もいます。

東京都の「幼児栄養調査」結果をみると、「食事を食べおわるのにはおとく」と一時間以上かかることがあります。かかるといって、なんらかのかたで「ある」とした者が全体の三分の一を占め、「食事の途中で席をたてて遊ぶことがありますか」は、「一割強の子どもたちが「よくある」とし「たまにある」を含

めると五七%にも達します。物事に対する集中力は加齢とともに増す傾向にあると言われていますが、最近の子どもは昔の子どもに比べ、食生活(食事)の選択枝が増え、豊富な状態における食事の貧困さが問題になってきています。また、特に子どもたちの遊ぶ時間が少なくなり、お腹を減らしたワンパクを捜すのに苦労するほどです。

テレビの影響も大きいようです。家に帰るなりテレビのスイッチを入れる子ども、もちろん大人にもよくあるケースですが見もしないテレビが一日中ついていることがあります。当然、食事中もついているでしょう。「朝食はテレビを見ながら食べましたか」、ある限られた一日を調査日として調べた結果「はい」と答えた保護者は三五・八%にも及び、夕食でも同じような傾向で三八・〇%いました。見ていた時間数についても一時間三十分以上の子どもの割合が四〇%近くあります。

このことは、家の外で遊ぶ時間にも影響を与えているとも考えられます。一時間以内しか外で遊ばない子どもたちが三一・三%います。夕間がとつぷり子どもたちの遊び場を包む頃、「〇〇ちゃん、ごはんですよ」と呼ぶにきた母の声懐かしいという世代が増えってきました。この世代の子どもは夢中で遊ぶことにより、お腹も減りました。望ましい健康観もはぐくまれました。今も昔も「よく遊び、よく学べ」は名言なのです。

毎週土曜日は健康相談日です

(トレンセン午前九時から十一時まで)